



公益財団法人
ソーシャルサービス協会だより

2018年
6月20日
事務局発行
No.23

2017年度決算（最終結果）

経常利益では **2,070万円の赤字!**
 資産は -27,315,983円の減少
 負債は -6,211,849円の減少
 正味財産は 21,104,134円の減少
4期連続の赤字、正味財産（自己資本）減です!

事業所ごとの損益結果は以下の通りです。決算の数字と差異が生じているのは、決算処理で雑収入と減価償却が加わっていることによります。

表1) 2017年4~3月の損益結果 (万円)

	実績	予算	前年	予算差	前年差
1 旭川事業所	-7	5	21	-12	-28
2 ※せせらぎ	-92	30	-125	-122	33
3 青森事業所	-177	-29	-19	-148	-158
4 仙台事業所	47	34	-17	13	64
5 ※塩釜事業所	-272	106	-199	-378	-73
6 多摩支所	-132	30	-387	-162	255
7 ITセンター	408	260	437	148	-29
8 ワークセンター	230	-119	83	349	147
9 京都事業所	-1,519	14	-201	-1,533	-1,318
10 宮若事業所	34	19	4	15	30
11 田川事業所	-51	-20	196	-31	-247
12 福岡事業所	-224	2	-435	-226	211
13 都城事業所	-4	-23	19	19	-23
14 本部	-134	151	-369	-285	235
計	-1,893	460	-992	-2,353	-901

表1) 損益結果は-1,893万円となり、雑収入と減価償却が加わって決算では上記の-2,070万円の赤字です。協会だよりNo.22号の決算前では-1,337万円でした。556万円の差異は、主にワークセンター（557万円→230万円）、青森（-5万円→-177万円）、せせらぎ（-14万円→-92万円）へ修正されたことによります。塩釜は（-387万円→272万円）と修正されています。2017年度は京都の赤字が80.2%を占めてました。特別集中減算1,100万円が大きく影響しています。今後の教訓にしていかなければなりません。

表2) 2017年4~3月の収入実績 (万円)

	実績	予算	前年	予算差	前年差
1 旭川事業所	111	75	78	36	33
2 ※せせらぎ	1,268	1,688	1,556	-420	-288
3 青森事業所	264	410	430	-146	-166
4 仙台事業所	1,526	1,842	1,558	-316	-32
5 ※塩釜事業所	3,901	5,116	4,360	-1,215	-459
6 多摩支所	3,229	3,120	2,995	109	234
7 ITセンター	5,242	4,000	5,149	1,242	93
8 ワークセンター	11,838	12,420	12,114	-582	-276
9 京都事業所	10,084	10,098	10,929	-14	-845
10 宮若事業所	235	240	149	-5	86
11 田川事業所	1,100	1,199	1,395	-99	-295
12 福岡事業所	76	272	0	-196	76
13 都城事業所	2,677	2,820	3,047	-143	-370
14 本部	891	526	527	365	364
計	42,442	43,826	44,287	-1,384	-1,845

表2) 収入実績は42,442万円となり、協会だよりNo.22号の決算前から245万円増となりました。主に、せせらぎが（1,345万円→1,268万円）に、青森が（430万円→264万円）に、ワークセンターが（11,388万円→11,838万円）に修正されたことによります。予算差異を見てみると、塩釜の-1,215万円とITの+1,242万円が目立ちます。

表3) 2017年4~3月の支出実績 (万円)

	実績	予算	前年	予算差	前年差
1 旭川事業所	118	75	56	43	62
2 ※せせらぎ	1,360	1,690	1,672	-330	-312
3 青森事業所	442	440	435	2	7
4 仙台事業所	1,479	1,574	1,574	-95	-95
5 ※塩釜事業所	4,174	4,364	4,471	-190	-297
6 多摩支所	3,361	3,090	3,381	271	-20
7 ITセンター	4,834	3,246	4,588	1,588	246
8 ワークセンター	11,607	12,819	11,451	-1,212	156
9 京都事業所	11,603	11,011	10,755	592	848
10 宮若事業所	200	171	145	29	55
11 田川事業所	1,151	1,320	1,198	-169	-47
12 福岡事業所	300	434	435	-134	-135
13 都城事業所	2,681	2,843	2,970	-162	-289
14 本部	1,026	837	897	189	129
計	44,336	43,914	44,028	422	308

表3) 支出実績は、44,336万円で予算に+422万円、前年に+308万円でした。予算内支出の事業所は、せせらぎ、仙台、塩釜、ワークセンター、田川、福岡、都城の7事業所です。予算超過支出の事業所は、旭川、青森、多摩、ITセンター、京都、宮若の6事業所と本部です。ITセンターは材料購入費用であり、その分収入を予算比+1,242万円超過しています。本部は予算化していなかった減価償却分と臨時の全国所長会議費用などで超過しています。前年比では、7事業所が減となり、6事業所と本部が増となっています。

表4) 資本変動計算書

		自平成29年4月1日 至平成30年3月31日		単位 円
	資本	資本合計	総資産合計	
	利益剰余金			
	その他利益剰余金			
	繰越利益剰余金			
当期首残高	235,119,523		235,119,523	
当期変動額				
当期純損益金（経常外損失）	△259,287	△259,287	△259,287	
その他変動事由（経常利益）	△20,844,847		△20,844,847	
当期変動額合計	△21,104,134		△21,104,134	
当期末残高	214,015,389		214,015,389	

表4) 資本の変動はどうか？ 期首の資本は2億3,512万円でしたが、固定資産除却損が26万円、経常利益が-2,084万円の結果、資本は-2,110万円減少となり、総資産合計は2億1,402万円となっています。

5月の業務月報

◆仙台事業所

- 業務遂行に関すること
 - 前月同様にヘルパー不足の状態は続いています。2人面接希望があり、1人は今後同行予定です。
 - 訪問介護サービスは、変化なしです。
 - 居宅介護支援は1人減です。体調不良者が多く、通所介助を希望する利用者が多くあります。
(訪問介護サービス自費対応)
 - 予算遂行に関すること
 - 先月比8万円程度プラスです。正職員2人の早朝、夜間の対応が多くて増収となっています。
- 備考：登録希望のヘルパーが2人有り、今後、同行し業務に協力していただくことに期待しています。

◆ワークセンター

- 業務遂行に関すること
 - 清掃事業、自立支援事業、訪問相談事業については、4月・5月とも順調にきています。
清掃事業では、6月に向島団地の「草刈り」の仕事が確保できました。
 - 訪問相談事業では、今年も相談員3人体制で業務を遂行していますが、利用者が例年と比較し、大幅に減っています。その要因はよく分かりませんが、全国的にホームレスが減少してきているのでしょうか。
 - 能力活用推進事業の「トイレ清掃」の仕事は、5月末日に「6月1日～年度末(31年3月31日)の契約」が確認できました。
 - ソーシャルホームは、7月末日閉鎖に向けて準備をしています。
- 予算遂行に関すること
 - 30年度総会を6月28日に開催することを決めました。総会では、29年度事業報告と30年度事業計画の確定に向けて準備しています。
 - 新規のプロジェクトチームの確立が重要であり、チーム編成に向けて努力していきます。
 - その他
特になし

◆田川事業所

- 業務遂行に関すること

5月の作業高目標に対しては166%の遂行状況
- 予算遂行に関すること

年間受注目標に対しては約70%の遂行状況
- その他

昨年の夏場対策の遅れを繰り返さないために6月に入り“アルバイト求む!”のチラシを新聞(赤旗日曜版)に折込しました。6月14日現在2人の高齢者の申し込みがありました。

◆ITセンター

- 業務遂行に関すること
 - ◎職業訓練
 - 3月生・・・5月末で修了。就職内定者が出てなく、今後の就職率悪化が見込まれる。
 - 4月生・・・訓練生がMOSワード試験にかなりの不安を抱えている。まだ就職活動ができていないので積極的に支援をしていく。
 - 6月生・・・入校選考会を実施。募集定員20人に対して応募者は38人いたが、中高年齢者が多く、今後の就職支援が困難になると思われる。
 - ◎ホームページ作成
 - 新規案件が少し出てきたが、ホームページ制作単価は高額ではないので、かかる時間の割には利益がでなくてきている。
 - ◎ホームページ自動音声読上げソフト、多言語自動翻訳ソフトなど
 - 財団のホームページ閲覧支援ツールをIBM製から日立製のズームサイトに切替えを行なった。福祉的な立場からメーカーに製品の改良を依頼していた内容がいくつか反映された。日立からは別個な代理店として認められ、相互協力の関係が強くなった。国土交通省は安定稼働しており、厚労省や防衛省には切替えのお願いを行なっている。他の導入の区市町村は少しずつ増えてきている。
- 予算遂行に関すること
 - ◎職業訓練
 - 3月生は、1名が介護退校となり定員数が少なく予算を遂行できない。また退校時就職が決定している方が数名なので困難を極める。
 - 現在Office2013を使用しているが、2016へバージョンをアップする必要が出てきた。パソコンが60台以上あるのでかなりの費用が掛かる。
- その他
 - 各職員とパートが良くやってくれて、よく勉強しており、MOS資格やキャリアカウンセラー資格の取得者が少しずつ増えている。合格者には研修費として負担の軽減を行なっている。

◆多摩支所

- 業務遂行に関すること
 - 月次決算の滞りあり。(本部と打ち合わせを希望)
 - 利用者21人。2~3人増を当面の目標にする。
 - 個室への利用者配置換えを行っていく。
- 予算遂行に関すること
 - 利用者が増えない為、住居費予算への食い込みがあり、上期後半には家賃支払い困難が危惧される。

5月月報は6/20現在、5事業所からありました。